

日本学術会議第二部会（第25期・第1回）議事要旨

1日時：令和2年10月2日（金）10:30～12:00、13:30～16:00

2. 会場：日本学術会議6-A(1)(2)会議室

3. 出席者：（敬称略）61名

荒井、五十嵐、池田、池邊、伊佐、石塚、磯、市川、遠藤、尾崎、金井、狩野、神田、北川、北島、木村、経塚、熊谷、後藤、小林、小松、小安、佐々木、佐治、澤、高井、高山、多久和、武田、丹下、寺崎、土井、戸田、中嶋、名越、西谷、仁科、西村（正治）、西村（ユミ）、西村（理行）、深田、藤井、古谷、松田、松本、眞鍋、水口、三谷、光富、三村、宮地、村上、村山、望月、安村、山口、山崎、山本、吉岡、米田、渡辺

（事務局：酒井、原澤、勝間田、畔上、作本）

4. 議事

部長選任までの間の議長として、古谷研会員が選任された。

1) 部長の互選について【資料1】

投票によって武田洋幸会員が部長に選任された。

2) 部長による副部長、幹事の指名

部長より、副部長に丹下健会員、幹事に尾崎紀夫会員、神田玲子会員が指名され、承認された。

2) 分野別委員会の委員について【資料2】

各会員が所属する分野別委員会について確認し、幹事会に諮ることが了承された。

また連携会員の親委員会への参画や特任連携会員の手続き等への質問に対して、武田部長、丹下副部長、事務局から説明があった。

さらに、二部付置分科会や課題別委員会、合同委員会など、分野横断的に検討を行い、タイムリーに社会的にインパクトのある提言を出す方針が武田部長より示された。

4) 連携会員説明会の日程について【資料3】

事務局より概要説明があり、第二部役員および分野別委員会委員長に出席依頼があった。

5) 今後の分野別委員会および分科会の開催について【資料4～11】

10/3 開催予定の分野別委員会における委員長の役員選任、前期からの申し送り事項等の議案について説明があった。また、分科会の設置日程・手続きについて説明があった。分科会の活動の在り方について、分野横断的な審議の重要性などの意見交換が行われた。

6) 第二部付置分科会の設置について【資料4】

第二部付置の「大規模感染症予防・制圧検討分科会」と「生命科学ジェンダー・ダイバーシティー分科会（名称の一部変更予定）」の第24期での活動状況の説明があり、第25期でも継続して設置することが了承された。

COVID-19に関連した分科会に関連し、感染者の偏見やこころのケア、リスクコミュニケーションなどの視点からの提言が必要であることから、今後情報共有を行い、分野横断的な活動を進める方針が武田部長より示された。

7) その他

① 提案「第25期新規会員任命に関する要望書について」の発出方法等について、意見交換を行った。

また総合科学技術会議で日本学術会議の制度改革について審議された当時の状況についての情報提供があった。

② 佐治英郎会員から、日本生命科学アカデミーについて説明があり、入会案内があった。

③ 武田部長から、科学者委員会「ゲノム編集技術に関する分科会」の第24期の活動について紹介があり、第二部に審議の場を設ける必要性について紹介があった。

④ 分科会の委員の選任方法について質問があり、以下の通り、意見交換を行った。

・連携会員名簿からピックアップをする、あるいは前期のメンバーに相談してはどうか

・分科会を残すかどうかの議論は、親委員会で行い、存続するというのであれば、コアメンバーだけでまずは分科会を立ち上げ、後日メンバーを追加するという方法もある。

⑤ 分科会のオンライン開催の方法について、事務局から説明があった。

・オンライン会議では出席率が上がるという利点がある。

⑥ オンラインでのシンポジウムの開催や SNS での発信の方法について質問があり、調べて情報提供することとした。

以上